



海辺・川辺調査レポート

※このフォームをご利用いただくか、ご自分で作成していただいて構いません。

■ 名 前 (ふりがな)	大田 真也
■ グループ名	
■ 学校名	三重県立水産高等学校海洋科
■ 学 年	2 年生
■ 年 齢	1 7 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	祖父母・父母・福田憲太 (同級生: 友人) 志摩町 B & G 海洋センター職員 (センター育成士: 大黒真呉)

■ レポートした場所	三重県志摩郡志摩町和具 和具漁港付近、英虞湾 (水産高校増殖棟) 付近
■ レポートの題名	海の町「志摩町」
■ 内 容	<p>私は、三重県立水産高等学校海洋科の2年生です。祖父・祖母とも水産高等学校の卒業生です。夏休みに志摩町 B & G 海洋センターのプールのアルバイトをしていた時に「海辺・川辺の調査レポート大募集」を見て応募しました。</p> <p>私の町「三重県志摩町」は、内は英虞湾に面しリアス式海岸・アコヤ真珠の養殖が盛んです。外は、太平洋に面し、漁師・海女さんたちが、あわび、伊勢えびなどの海の幸を採りながら生活を営んでいます。</p> <p>太平洋戦争から50年以上の間、海辺に関する整備が進み、最近は、台風・地震などの対策により身近にあった自然美が変化していく姿を見て、海で楽しむことがすくなくなってきたと感じました。</p> <p>祖父母と昔の話をしている内に、祖父母の若い時の写真を見て、どこもすっかり様変わりしているところが多くて驚いてしまいました。祖父との話の中で、水産高等学校時代の実習「戦争訓練」写真を見て、私の時代には想像もつかない様な事をしてびっくりしました。</p> <p>祖母は、現在の新和具漁港が出来る前の海女の写真があり、私は幼児の時に海水浴をしたことを思い出しながら、つい掲載しました。</p> <p>祖父母との話は、私が生活している基準とは異なっているため新鮮な気持ちで聞いていました。</p> <p>祖父の時代は、水産高等学校の増殖棟が旧校舎のため、幼い時に見た風景をなつかしく感じました。</p> <p>実習は、祖父・祖母ともに遠泳があって、英虞湾を往来する程よく泳</p>

いとお話を聞きました。現在は、遠泳がなく、少しさびしい思いをしています。

私の写真は、近年に和具浦に大橋が建てられます。戦後からとても様変わりしてしまいそうです。

私の水産高等学校海洋科は、県下初の海技士、潜水士、マリンインストラクターを養成する学科です。

将来海に関する仕事につきたいと思っています。ウインドサーフィン・ヨット・カヌーなどマリンスポーツの練習をしています。

今年の秋は、鰹を釣りながら、実習船「しろちどり」に乗ってグアムへ行きます。

船で外国へ行くのは生まれて初めてなので、とても楽しみです。これから、私の町「志摩町」がどのように移り変わっていくのかとても楽しみです。

環境、産業（漁業・真珠など）も良くなり、どの人からも親しみがもてるような海になっていくように願っています。

■ 写 真 名 前 _____

※写真や資料で、自分のもの以外を使用する場合は、必ず、何の資料か、誰の写真かなど、連絡先や住所などをメモして保存しておいてください。公表する際に、必要となります。

※本文（内容）と写真は、セットとして、メールで送信するか、郵送してください。

※この用紙以外でも構いません。

海の町「志摩町」

祖父の時代(昭和 15 年)

水高増殖棟付近



(祖父資料提供)

父母の時代(昭和 42 年)

⇒ 水高増殖棟付近

⇒



(母資料提供)

現在(平成 15 年)

水高増殖棟付近



(自分で撮影)

祖母の時代(昭和 22 年)

新和具漁港ができる前の小浜

⇒

現在(平成 15 年)

町並みから見た新和具漁港

⇒



(祖母資料提供)



(自分で撮影)

現在(平成 15 年)

太平洋から見た新和具漁港



(自分で撮影)

新和具漁港市場

(鰹入荷風景)

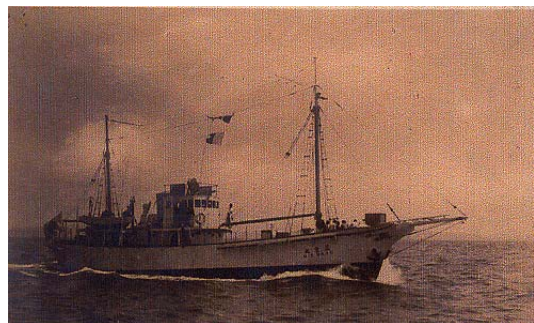


(町勢要覧にて)

水産高等学校実習船

祖父の時代(昭和 15 年)「三重丸」
大東亜戦(第二次世界大戦)で撃沈してしまいました

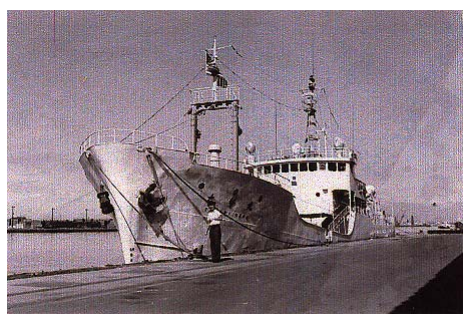
⇒



(祖父資料提供)

父の時代 (昭和 42 年)「大勢丸」

⇒



(父資料提供)

現在(平成 15 年)「しろどり」



(父資料提供)

現在(平成 15 年)
マリンスポーツ実習風景



(町勢要覧にて)